



## 「令和の日本型学校教育」について一緒に考えましょう！～その1



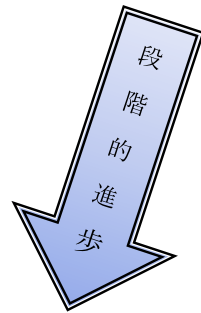
中央教育審議会より、『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」が出されてから4年が経過しました。

答申の第I部総論の始めに、**急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力**について述べられており、現在は、先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられた Society（ソサエティ）5.0時代が到来しつつあるのだそうです。

### 私たちの社会

- Society 1.0時代 … 動物の狩猟を中心とする狩猟社会
- Society 2.0時代 … 農耕の普及による農耕社会
- Society 3.0時代 … 蒸気機関等の発明による工業社会
- Society 4.0時代 … ICTの進展による情報社会
- Society 5.0時代 …

超スマート社会と呼ばれ、コンピュータ上の「仮想空間」と、私たちが暮らす「現実空間」とを高度に融合することによって、社会をより良い「人間中心の社会」に変えていくことを目指します。



子供たちに育むべき資質・能力として、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識し、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要とされています。

そして、このような資質・能力を育むためには、学習指導要領の着実な実施、学校教育を支える基盤的なツールとしてのICT活用が必要不可欠と述べられています。

本年度も、インクルーシブ教育推進員として多くの学校を訪問しています。各学校では、子供たちを真ん中に置いた学校・学級運営、個別最適な学びと協働的な学びの一体を目指した授業づくりや個に応じた指導に積極的に取り組まれています。

#### <引用・参考>

- 令和3年版 科学技術・イノベーション白書 Society5.0の実現に向けて（文部科学省 HP）